



だより



R7.10.21 Vol.24

おめでとう！

子供たちの誕生日、教室に行って、一緒にハッピーバースデーを歌っています。必ずとなりのクラスの子供たちもやってきて、みんなで歌を歌い始めます。ただそれだけの朝ですが、そんな朝に真穴っ子たちからエネルギーをもらっています。



ひたむきであること…素直であること…

先週、陸上運動記録会について少し触れました。続きというわけではないのですが、「楽な練習で速くなるわけないやろ？」体育主任の指導のサポートをしながら、子供たちに投げかけていた言葉です。ですから私が練習に現れると「うわっ！校長先生来た！今日はしんどい練習や…」そんなことを言う子もちらほら(笑)

そんな中での6年生の女の子の話です。決してとびぬけて足の速い子ではありません。ただ日々の練習にひたむきに取り組み、指導の言葉に対して、「はい！分かりました。ありがとうございます。」と素直に耳を傾けていました。少しずつ走りが変わっていききました。個人でもリレーでも入賞を果たしました。昨年まで本校にいたF先生が、大会当日、私のそばに来て、「めっちゃうちゃ走りが良くなっているやないですか！びっくりです！」そう声を掛けてきました。天性だけで勝負できるのはほんの一握りの人です。ひたむきに素直に取り組む姿！見習いたいものです。よくがんばりました！

#### 四方山話真穴 ver2. 其の二十四(両輪)

先日、ある保護者との雑談の中で、「校長先生！この前、校長室便りに書いていた「あ!!無理！」って言う子、あれうちの子でしょ！注意しといたんですが、まだ言ってますか？」「いえ、言ってませんよ！陸上練習も頑張っていますよ！」そんな話になりました。ただ、決して特定の子を指したネガティブな内容を便りにすることはありません。何人の子からも聞こえてきたり、全体的にそういう雰囲気を感じたりしたときに記事にして投げかけています。とは言いながら、そうやって自分事として捉えていただいていることをありがたいと感じました。『うちの子でしょ！』と言っていた点で、普段から子供に関わり、見ていただいていることが伝わってきます。そしてそのことをしっかり子供に伝えていただいていることを嬉しく思います。

陸上練習中、その子呼んで二人で話したことがありました。「なんか走りを見ていてしんどそうに見えるんやけど…」多分、怒られると感じたんでしょう。初めはごまかすような返答をしてきたのですが、「いや怒ってるんやないんよ。〇〇さんは、ほかの運動もしているし、オーバートレーニングになってるかもしれないから、休む時は休んでいいんよ。」そういうと「わかりました。」と練習に戻りました。その日を境に、「あ!!無理！」なんて言葉を出すこともなくなっていきましたし、取組もより真剣になっていきました。しんどさへの不安もあったんだろうなと思います。そして同じ時期に家庭でも練習に取り組む態度について投げかけていただいていたのでしょうか。

価値観が多様化している時代ですが、私たち教員と保護者の皆さんは「子供たちのために」という点では間違いなく同じ価値観を共有しています。どう関わっていくのか？褒めるだけでなく厳しくするだけでもない。バランスの取れた関わりを子育ての両輪としてこれからも一緒に進めていきたいと思っています。この便りで投げかけていくことが、そのきっかけになるのであれば、こんなに嬉しいことはありません。

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っています。